

特集

5Gで行政サービスは変わるか 地方の医療・交通・教育・産業など支援

8

2	三神万里子の直言
4	ニュース&インサイド ふるさと納税訴訟、国に軍配
7	霞が関 底流伏流（厚生労働省） 病院再編は地域存続の鍵
18	グローバルインタビュー 宮崎市長 戸敷 正氏
21	これがBiz流地方創生だ 大村市産業支援センター 若杉 誠司氏
22	フォーカス 地方のソフト単独事業の実態
28	レポート 兵庫県の第2期地方版総合戦略
30	地方創生の旗手 チャウス社長 宮本 吾一氏
32	現場から見た地方行財政 林 誠氏 特別交付税の役割を改めて考える
34	人口減少時代のインフラ更新 石井 晴夫氏 デジタル時代を支援する新たなツール
36	持続可能な未来へ 藤山 浩氏 循環革命が始動する2020年代
38	自治体防災の要諦 河田 恵昭氏 治水で知っておくべき基本とは

40	地方議会のミライ 牧瀬 稔氏 改めて地方議員の存在意義を問う
42	MaaS最前線 日高 洋祐氏 交通事業者とオペレーターの関係
44	Interview首長 和歌山県串本町長 田嶋 勝正氏
45	ニュース・ウォッチング
52	Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉5Gで1頭1頭の牛を管理

日本国内の牛は一頭一頭を識別するため個別の番号を記入したタグを耳に装着している（写真上）。「とかち村上牧場」（北海道上市幌町）はこれを4Kカメラで撮影し、5G回

線で送信する実証試験を行った。

高精細画像から番号を読み取り、牛の年齢や体重、位置などの情報を牛舎内のタブレットなどの端末に送る。定期健診時などに牛を探す手間

が省け、業務が効率化する。試験に参加した宮崎大学のティティズイン教授もタブレットのデータに、手ごたえを感じているようだった。（文＝坂田 保治、写真＝ATR提供）